

令和5年度ウクライナ避難民支援状況報告書

1 ワンストップ窓口の開設

ロシア軍のウクライナ侵略によるウクライナからの避難民を区民として受け入れるため、文化・国際交流課は（公財）板橋区文化・国際交流財団と連携し、ウクライナ支援ワンストップ窓口を開設しました。

開設日：令和4年4月26日（火曜日）から

対応言語：ウクライナ語、ロシア語、英語、やさしい日本語

2 ウクライナ避難民数

30世帯 38人

3 一時金支給実績

190万円（12世帯14名）

4 家具家財支援

11件 102,482円

（アイロン、小型冷蔵庫、扇風機、ヒーター、自転車、マットレス、炊飯器等）

5 ポケット貸与台数

17台 ※返却済も含む貸与した件数、令和4年度からの累計

6 ロシア語及びウクライナ語通訳・翻訳体制整備

通訳：窓口での受話器受け渡しによる電話通訳、受電・架電時の通訳に対応しています。

翻訳：東京都つながり創生財団のウクライナ語翻訳を利用しています。

7 ロシア語及びウクライナ語の語学ボランティア登録者数

ロシア語…28名

ウクライナ語…7名（5名ロシア語対応可）

8 ICIEF 日本語教室の受入

令和5年度 2名（受講料とテキスト代無償）

9 住宅の支援

（1）区営住宅 1世帯4名

（2）富士見支部長のシェアハウス 1世帯2名＋猫

(3) 都営住宅 30戸用意(富士見町、成増、舟渡、大山西町)

10 物品の寄付

東京板橋セントラルロータリークラブにより小中学生のいる2世帯3名への支援。
支援物品：中学校入学用制服、体操服、バドミントンラケット、図書カード

11 手紙送付

出入国在留管理庁から月1回来る避難民リストを補完的に使い、毎月、把握している区内避難民全員に手紙を送付しています。

12 就労及びボランティアに関する支援

いたばし生活仕事サポートセンター、東京外国人雇用サービスセンター、ハローワーク等と連携し仕事探しをサポートしています。

13 心のケア

長期化する避難生活のため、QOL向上事業(=Quality of life(クオリティ オブ ライフ)「生活の質」「生命の質」)を行いました。

(1) 文化事業等への招待

- | | |
|----------------------------|-----------|
| ①サッカー観戦招待(東京都連携事業) | 2組5名 |
| ②キーウクラシックバレエ招待 | 4組10名 |
| ③いたばし花火大会招待 | 約30名 |
| ④ウクライナ料理教室で区民と交流(区内企業連携事業) | 1名(14回) |
| ⑤ウクライナ避難民交流イベント(東京都連携事業) | 人数非公表 |
| ⑥財団日本語スピーチ大会 | スピーカー出場1名 |
| ⑦歌舞伎観覧招待(区内企業連携事業) | 3月実施予定 |

その他、区民まつりなどのイベントを周知し自由参加。

(2) 区立体育施設個人利用料免除

令和4年度利用実績72回

避難民であることの証明書提示でジム・プール無料。令和5年度も継続して行いました。